

日本食品展 in Hong Kong  
日本美食展覽會 in Hong Kong  
Japanese Food Exhibition in Hong Kong

実施報告書



平成24年3月23日

請負事業者

株式会社JTB西日本

# 目次

## 【目次】

見出し番号	項目	ページ番号
-	はじめに	2
1	開催概要	3
2	開催会場レイアウト	4
3	展示会装飾・デザイン	5
4	出展者一覧	6
5	出展ブースレイアウト	7
6	事業スケジュール及び運営体制	8
7	1 事前準備 - 出展者の募集・選定	9
	2 事前準備 - 出展者選定後の流れ	10
	3 事前準備 - 出展者説明会	11
	4 事前準備 - 物流・輸送	13
	5 事前準備 - 【総評】	14
8	1 広報支援活動(本番) - スケジュール	15
	2 広報支援活動(本番) - オープニングセレモニー	16
	3 広報支援活動(本番) - 実施概要	17
	4 広報支援活動(本番) - その他	20
	5 広報支援活動(本番) - メディア関連	21
	6 広報支援活動(本番) - 【総評】	23
9	1 商談支援活動 - 実施概要	24
	2 商談支援活動 - 課題と対策	25
	3 商談支援活動 - 成功事例	26
	4 商談支援活動 - バイヤー招聘リスト	27
	5 商談支援活動 - 【総評】	28
10	1 広報支援活動(事前) - プレカンファレンス	29
	2 広報支援活動(事前) - 流通イベント	32
	3 広報支援活動(事前) - プレイイベント	33
	4 広報支援活動(事前) - その他	38
	5 広報支援活動(事前) - 【総評】	39
11	1 来場者アンケート結果 - 市場調査	40
	2 来場者アンケート結果 - 満足度調査	42
12	1 出展者アンケート結果 - 食品展全般	44
	2 出展者アンケート結果 - 商談会	52
	3 出展者アンケート結果 - その他意見	54
13	全体総括	56
14	参考資料	58

農林水産省は、昨年3月に起きた原発事故により大きな影響を受けた日本産農林水産物等の信頼回復が喫緊の課題であることから、日本産農林水産物の最大の輸出先である香港の購買者及び消費者へのPR活動を通じて信頼回復を図ることを目的に「日本食品展 in Hong Kong」を開催した。

「日本食品展 in Hong Kong」は、日本産品への評価が懸念されたが、会期中の来場者数は当初の予想を超えて、香港市場での日本産農林水産物等の人気の高さを再認識すると共に、香港の購買者及び消費者へPRするよい機会となった。

平成24年3月

吸引近萬人入場 促進港日順利洽商

日本美食展覽會上周日圓滿結束

連三日的「日本美食展覽會 in Hong Kong」於上周日圓滿結束，吸引近萬人入場，成功為港日商家營造洽商的機會。是次展覽由日本農林水產省主辦，在香港會議展覽中心舉行，目的是為了促進日本農產品及食品出口貿易，並感謝香港市民對日本食品的支持。展覽期間，日本食品參展商向香港市民介紹了多種優質的農產品，而大會亦邀得日本名廚進行廚藝表演，與現場觀眾分享烹飪心得。



▲日本農林水產省大臣官房審議官櫻庭英也對日本的農林水產充滿信心，預計今年的出口量將會上升。



▲「日本美食展覽會 in Hong Kong」於3月2日至4日舉行，為津日商提供了洽商台。

首先，香港是日本的農林水產入口量多的地方，佔整體數量的四分之一。對我們來說是一個最大的市場；其次，香港對國際化的嚮往，能夠吸引來自世界各地的商家來港洽商；再者，我們希望藉著這個美食展覽，恢復農業的魅力，而香港鄰近日本，實在是最佳舉場地的不二之選。」



日本農林水產市場將回升

櫻庭說：「由於311大地震的影響，日本去年整體的農林水產出口量下降了8%，其中農產品和水產品分別減少了77.4%和5%；而受惠於中國、香港和台灣對森林的需求，林產出口則上升了16.3%。我估計今年的農林水產出口量將會回升，尤其是香港市場，因為日式料理一向受香港市民歡迎，而且市場需求穩定，對此我非常有信心。」

除了舉辦美食展外，日本農林水產省還從不同角度推廣日本農林水產，例如舉辦出口入口程序、把日本農林水產大廳的農林水產介紹到中國料理中，以及與日本政府觀光省合辦Visit to Japan活動，吸引更多的香港旅客到日本旅遊。櫻庭英也說：「我們的目標是由去年一百六十家日本參展商增加至一百八十家。」



日本名廚品頭論津安邦利的牛蒡蘿蔔和美味，父親傳。



日本名廚品頭論津安邦利的牛蒡蘿蔔和美味，父親傳。



▲市民搶購試食和牛，老撈以生熟個人裝



▲廚藝教室《演繹傳》主持小野總子與後場人士一起參與輕食烹飪。



▲「懷孕子」是日本的民間小玩意，而香港市民在這個遊戲攤位均玩得不亦樂乎。



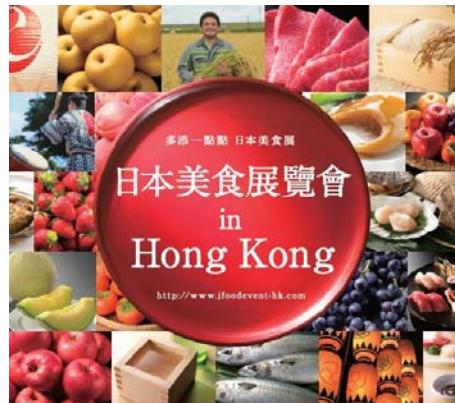
▲現場還有日牛燒試食，兩塊出爐後即刻切開。

（資料由客戶提供）

<日本食品展 in 香港を取り上げた記事>

# 1. 開催概要

開催主旨	香港において日本産農林水産物等を扱う日本国内の製造業者・流通業者を支援対象とした「日本食品展」を開催し、香港及びアジア地域への日本産農林水産物等を輸出拡大と現地消費者等に対する日本産農林水産物等のイメージ回復を図る。			
展示会名	日本食品展 in Hong Kong (日) 日本美食展覽會 in Hong Kong (中) Japanese Food Exhibition in Hong Kong (英)			
開催期間	平成24年3月2日(金)12:00~19:00 平成24年3月3日(土)10:00~17:00 平成24年3月4日(日)10:00~17:00			
開催場所	香港 Hong Kong Convention & Exhibition Centre Hall 1C 住所:1 Expo Drive, Wanchai, Hong Kong			
ホームページ	<a href="http://www.ifoodevent-hk.com/">http://www.ifoodevent-hk.com/</a> (広東語) <a href="http://www.ifoodevent-hk.com/jp/">http://www.ifoodevent-hk.com/jp/</a> (日本語)			
入場料	無料			
開催規模	2,000 m <sup>2</sup>			
来場者数	1万7981人	3月2日:5021人	3月3日:6438人	3月4日:6522人
バイヤー数	のべ174社	3月2日:86社	3月3日:57社	3月4日:31社
出展者数	41社			
メディア来場数	24媒体	3月2日:21媒体	3月3日:2媒体	3月4日:1媒体



2012年3月2日(五)至3月4日(日)

3月2日(五)12:00~19:00・3月3日(六)10:00~17:00・3月4日(日)10:00~17:00

香港會議展覽中心 A1出口更衣約10分鐘

地址:香港灣仔軒尼詩道1號 香港會議展覽中心

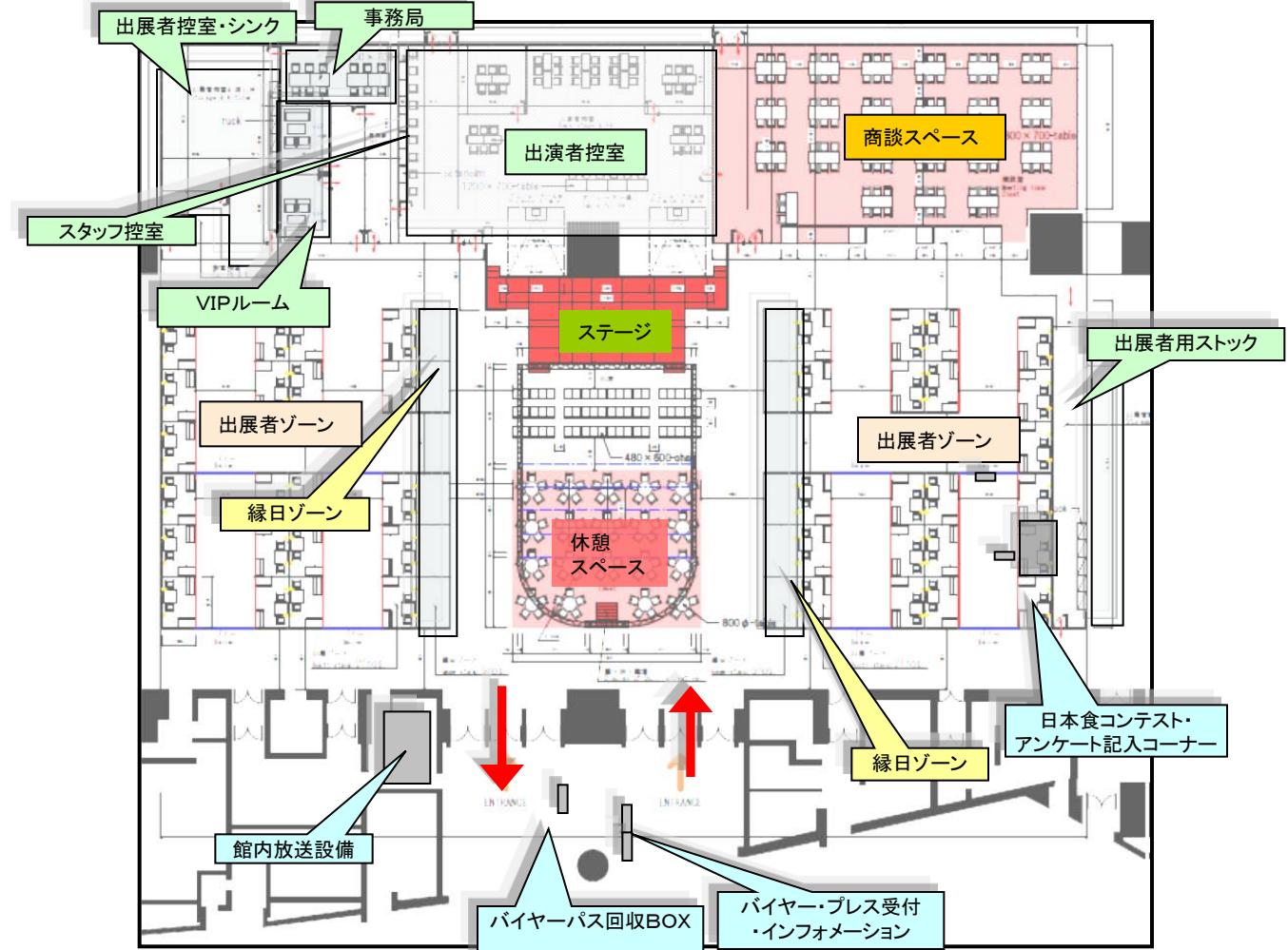
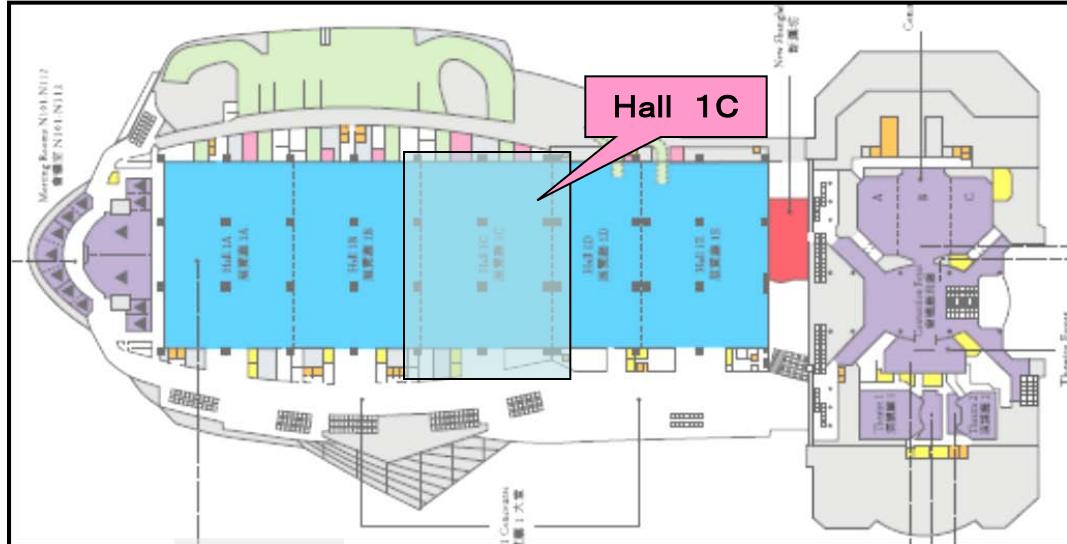
網址: <http://www.hkcecc.com/front-page> 協助:香港貿易發展局



## 2. 開催会場レイアウト

場内導線の確保のため、香港で人気のある食品等を分散化させることで、満遍なく賑わいを作るよう考慮した。会場は、商談会を実施するB to Bゾーン、出展者ブースにて消費者及びバイヤーへのPRを行うB to Cゾーン、オープニングイベントやクッキングデモ等のステージイベントを開催するイベントゾーンの3エリアに区分けし、目的を明確化することで機能的でスムーズな運営が可能となった。

また、イベントゾーンでのステージイベントに加え、B to Cゾーンにおいても場内イベントを実施し、絶えず賑やかさを演出した。



### 3. 展示会装飾・デザイン

#### ＜ステージ周りの縁日イメージ＞

目的を明確化した会場構成と、日本文化を体感できる装飾をデザインした。装飾に関しては、祭りをテーマに五穀豊穣をキーワードとして日本食の魅力や日本文化を体现した。



#### ＜会場を彩るバナー＞



＜節=祭り、謝=感謝、結=縛、豊=実りを表現＞

## 4. 出展者一覧

出展企業名	県名	食品カテゴリー
三和油脂株式会社	山形県	食用油
多田フィロソフィ	兵庫県	塩
センナリ株式会社	広島県	酢
ひかり味噌	東京都	味噌
株式会社 角谷文治郎商店	愛知県	みりん 酒
菊水酒造株式会社	高知県	酒
株式会社すくも酒造	高知県	酒
株式会社 伊勢萬	三重県	酒
丸石醸造株式会社	愛知県	酒
三山グリーン株式会社	千葉県	業務用全般
株式会社 ごはん	新潟県	米・餅
株式会社つぼ市製茶本舗	大阪府	お茶
有限会社 大蔵園	静岡県	お茶
ブリセフト株式会社	大阪府	生姜粉末・おこげすーふ
株式会社 デリコ	大阪府	マクロビオティック
国岡製麺株式会社	北海道	麺
株式会社エムコ	鳥取県	にんにくエキス
株式会社 静稟	静岡県	お茶
富永貿易株式会社	兵庫県	飲料
大吉商店株式会社	滋賀県	和牛
日本農業法人協会	東京都	米・玉ねぎ
ジョイントファーム株式会社	新潟県	米
宮城加工技術協同組合	宮城県	水産物
株式会社 辻野	東京都	水産物
株式会社 かわまん商店	沖縄県	水産物・乾燥もずく
株式会社エス・マルシェ	静岡県	水産物
一正蒲鉾株式会社	新潟県	水産物(加工品(蒲鉾))
木村水産株式会社	滋賀県	水産品(鮎)
株式会社かも有機米	新潟県	米
CF商事	宮崎県	和牛
株式会社坂ノ途中	京都府	野菜・お茶・ごま油・キクラゲ
グッチートレーディング	千葉県	雑穀米
有限会社 高知アイス	高知県	ゆず商品
株式会社 沖縄県物産公社	沖縄県	お菓子など沖縄食品
D's Plate	沖縄県	果物
株式会社 植嶋	奈良県	お菓子
株式会社 真田	京都府	お菓子など
ニシモト食品(株)	福岡県	食品全般
有限会社馥郁農園	岐阜県	ジュース・ジャム
沖縄特産販売株式会社	沖縄県	ジュース
株式会社山辻	大阪市	野菜

※ブース1~10:縁日ブース

※ブース11:アンケート回収ブース

# 5. 出展ブースレイアウト

出展者控室&流し台 Storage & Kitchen

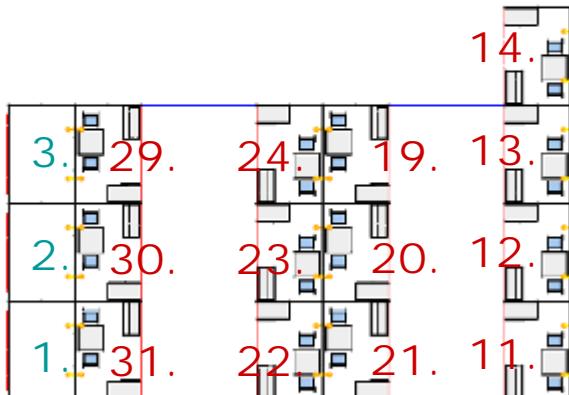
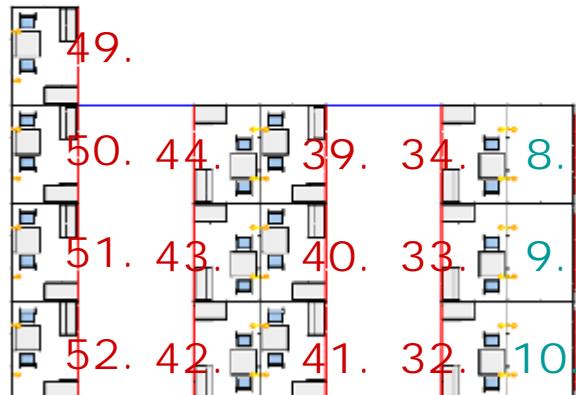
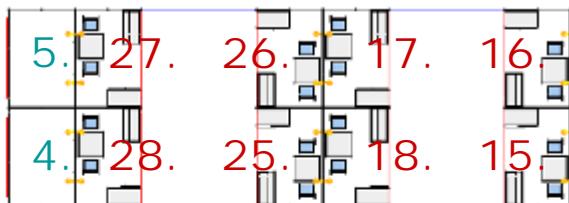
事務局 Office

出展者控室 Back stage & PA

商談室 Meeting room



STAGE



※1.~10.は、縁日ブース



会社名	出展内容	連絡先
株式会社アーバン	地域活性化支援	03-5542-0200

日本食文化 in Hong Kong  
Hong Kong Government and Exposition Centre

会員登録

会員登録	会員登録	会員登録
会員登録	会員登録	会員登録
会員登録	会員登録	会員登録
会員登録	会員登録	会員登録

出展企業・団体名	出展企業・団体名	出展企業・団体名
11.	25. プリセプト株式会社	39. 木村水産株式会社
12. 三和油脂株式会社	26. 株式会社デリコ	40. 株式会社かも有機米
13. 株式会社多田フィロソフィ	27. 国岡製麺株式会社	41. 有限会社C・F商事
14. センナリ株式会社	28. 株式会社エムコ	42. 株式会社坂ノ途中
15. ひかり味噌株式会社	29. 株式会社静陵	43. (株)グッチートレーディング
16. 株式会社角谷文治郎商店	30. 富永貿易株式会社	44. 有限会社高知アイス
17. 菊水酒造株式会社	31. 大吉商店株式会社	45. 株式会社沖縄県物産公社
18. 株式会社すくも酒造	32. 社団法人日本農業法人協会	46. D's Plate
19. 株式会社伊勢萬	33. ジョイントファーム株式会社	47. 株式会社植嶋
20. 丸石醸造株式会社	34. 宮城加工技術協同組合	48. 株式会社真田
21. 三山グリーン株式会社	35. 株式会社辻野	49. ニシモト食品株式会社
22. 株式会社ごはん	36. 株式会社かわまん商店	50. 有限会社馥郁農園
23. 株式会社つぼ市製茶本舗	37. 株式会社エス・マルシェ	51. 沖縄特産販売株式会社
24. 有限会社大蔵園	38. 一正蒲鉾株式会社	52. 株式会社山辻

## 6. 事業スケジュール及び運営体制

### 【事業実施スケジュール】

出展者募集	平成24年1月10日(火)～1月25日(水)
出展者決定(決定通知発送)	平成24年1月30日(月)
出展者説明会	平成24年2月2日(木)大阪・2月3日(金)東京
広報活動	平成24年2月15日(水)～
プレ商談	平成24年2月6日(月)～2月7日(火)
プレカンファレンス	平成24年2月15日(水)
バイヤー招聘	平成24年2月1日(水)～2月17日(土)
プレイベント	Common Space :平成24年2月25日(土)・26日(日) YATA(一田百貨) :平成24年2月25日(土)・26日(日) AEON :平成24年2月28日(火)・29日(水)
日本食品展in香港	平成24年3月2日(金)～3月4日(日)

### 【運営体制】

出展事務局	【株式会社 JTB西日本】 事業全般の総括・運営
広報PR・WEB	【株式会社 電通】 <事前準備の段階> ・プレスカンファレンス実施運営 ・広報宣伝物企画・制作(パンフレット、ポスター、チラシ等) ・専用ウェブサイト作成・運営
会場施工・装飾	【Kingsmen Hong Kong Ltd】 <事前準備の段階> ・展示会場装飾デザイン設計 <本番> ・展示会場の設営・撤去
物流	【株式会社 近鉄エクスプレス販売】 <事前準備の段階、本番、フォローアップ時> ・出展物の物流調整 <本番> ・出展物・会場備品の輸送・搬入
イベント運営サポート ステージ音響・映像	【Bravo Creative Management】 <事前準備の段階> ・ステージイベント出演者調整 <本番> ・全体の誘導、ステージイベントの運営など

# 7-1. 事前準備—出展者の募集・選定

## 【出展者（食品関連事業者）の募集・選定】

香港の輸入規制や輸出拡大が見込まれる品目等を踏まえ、全国から広く参加者を募集し、公平性・透明性・合理性に基づいた選定を行った。この結果、2012年1月10日～1月25日の募集期間内に、57社の申込があり、1月30日に出展者42社を発表した。後日辞退が一社あり、最終的に41社の出展で決定となった。

## 【募集・選定方法】

募集方法	<ul style="list-style-type: none"><li>①弊社ホームページでの出展者募集(農林水産省ホームページのリンク貼り付け)</li><li>②地方公共団体を含む農林水産物等輸出促進協議会の構成員等に出展募集案内を送付</li><li>③弊社の持つ生産者ネットワーク(1,000社以上)及びJA全農のネットワークを活用し、ダイレクトメール発送</li><li>④今年度弊社が受託している農林水産省等の各事業(マッチング対策(香港)、輸出オリエンテーションの会等)の参加者へ告知</li><li>⑤メディアとの連携による告知</li></ul>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

出展要件	<p><u>以下の条件を満たす商品を製造又は流通する事業者</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①日本産の原料が使用され、日本で製造されたもの</li><li>②香港に販路創出・拡大の意欲がある</li><li>③香港の輸入規制(放射性物質検査を含む)への対応が可能なもの</li><li>④香港のマーケットに合い、輸出拡大が見込まれるもの</li></ul>
出展料	<p>無料 ※以下に係る費用は出展者負担</p> <p>(出展物の輸送・通関・処理、放射性物質検査のうち10万円を超過する費用、独自に必要とする設備・備品類、個別に配置する通訳・アシスタント、職員派遣、保険等の追加経費など)</p>
出展者設定数	42社
募集期間	平成24年1月10日(火)(交付決定後直ちに)～1月25日(水)17:00まで

選定方法	<p>出展要件及び出展基準(右下)に基づき、出展品目に片寄りのないよう公平に選定</p> <p>農林水産省食料産業局輸出促進グループとの協議</p>
	<p>平成23年度海外ビジネスネットワーク構築委託事業 (ジャパンパビリオン設置)出展者選定基準</p> 

出展者決定	農林水産省の承認後、出展者を決定(決定通知はEメール)
-------	-----------------------------

## 7-2. 事前準備ー出展者選定後の流れ

期日	実施事項	出展者様の実施事項	提出先
2/2(木) 2/3(金)	事前研修会(大阪) 事前研修会(東京)	事前研修会のご参加	
2/4(土)		サンプル申請書提出締切日 (D1)	Hong Kong Convention and Exhibition Centre (HKCEC)
2/6(月) 2/7(火)	プレ商談	2/6 商品提案書変更・訂正締切日	JTB西日本
		2/7(締切日) 日浩キングスメンに申請書提出	キングスメン
2/8(水)		オーダーフォーム提出(締切)	近鉄エクスプレス
2/10(金)	ブース番号発表	・イベント用サンプル必着 ・専属通訳申込提出	JTB西日本
2/15(水)	プレスカンファレンス 現地メディア・プレスを対象に、日本食品展をPR	出展者バッチ申請書提出締切日 (D2)	JTB西日本
		搬入車エントリーパス提出締切日 (D3)	HKCEC
2/17(金)	招聘バイヤー発表	調理希望者は、調理内容・詳細をJTB西日本に報告	JTB西日本
2/20(月)	プレ商談フィードバック		
2/21(火)		バイヤー希望シート提出 (D4)	JTB西日本
2/25(土) 2/26(日)	イベント		
2/27(月)	個別商談プログラムを送付 最終案内送付	個別商談先の確認 各種手配状況の確認 商品提案書(日・英)の確認	
2/28(火) 2/29(水)	イベント		
3/1(木)	会場施工	13:00～準備	
3/2(金)	展示会/商談会本番 (12:00～19:00)	展示会/商談会参加	
3/3(土)	展示会/商談会本番 (10:00～17:00)	展示会/商談会参加	
3/4(日)	展示会/商談会本番 (10:00～17:00)	展示会/商談会参加・撤収作業	
3/5以降	フォローアップ	商談会・消費者アンケート結果の評価	

# 7-3. 事前準備—出展者説明会

## 【出展者説明会開催】

日本食品展 in Hong Kongへの出展・商談に備えるために出展者説明会を開催した。出展者説明会では、出展に係る物流の説明、ブース設営の手手続きなどの説明とともに、商談会対策として香港マーケットの説明、来場バイヤーの説明、模擬商談などを実施し、商談技術の向上を図った。

出展決定通知から間もないことや、会場まで遠いといった理由で(沖縄県からの出展者など)欠席が14社あったが、その14社に對しては、同日中に資料をメールにて配信し遅滞のないよう対応した。

## 【概要】

開催地(参加数)	欠席者数	日時	会場
大阪(13社・13名)	9社	2月2日(木) 10:00～17:00	JTB西日本 (会議室)
東京(15社・17名)	5社	2月3日(金) 10:00～17:00	JTB本社ビル (会議室)

## 【説明会プログラム】

スケジュール	テーマ	内容
第一部 (10:00～10:45)	【香港マーケットを知る】 説明者…(株)JTB西日本 法人営業大阪支店 公務営業部 部長 西川太郎	・香港人の嗜好及び商習慣、市場特性、流通事情、日本産 農林水産物等の普及状況などの説明 ・香港における風評被害の実態と対応策 ・プレ商談結果報告
第二部 (10:45～11:15)	【貿易のいろは】 説明者…(株)JTB西日本 法人営業大阪支店 公務営業部 部長 西川太郎	・輸出手続きの流れと輸送方法について ・輸出業者(フォワーダー等)の見つけ方 ・香港の輸入規制や必要書類、放射性物質検査等について
第三部 (11:15～11:45)	【商品の価値を向上させる】 説明者…(株)JTB西日本 法人営業大阪支店 公務営業部 部長 西川太郎	・安全性・高品質の徹底 ・マーケット・イン(現地市場に合った商品開発・改善) ・付加価値の創造(ストーリー性の訴求)
第四部 (12:45～15:00)	【商談技術を向上させる】 説明者…(株)JTB西日本 法人営業大阪支店 公務営業部 部長 西川太郎	・模擬商談の実施 ・商品の上手な売り込み方とは ・企業プロフィール・商品提案書(価格表)(※1)の作成・活用
第五部 (15:15～15:45)	【バイヤーのターゲット化】 説明者…(株)JTB西日本 法人営業大阪支店 公務営業部 部長 西川太郎	・参加予定のバイヤーの情報提供 ・商談希望バイヤーの集約
第六部 (15:45～16:45)	【商談本番に向けて】 説明者…運営事務局 西田匡志事務局長 株式会社 近鉄エクスプレス販売 常務取締役 井上 博氏 株式会社 日浩キングスメン 石橋総子女氏	・日本食品展の説明(出展物の輸送・会場利用の説明含む) ・本番に向けての準備(通訳・アシスタント手配方法説明等含む)
第七部 (16:45～17:00)	【質疑応答】 説明者…運営事務局 西田匡志事務局長 株式会社 近鉄エクスプレス販売 常務取締役 井上 博氏 株式会社 日浩キングスメン 石橋総子女氏	・出展者の疑問点解消

### 7-3. 事前準備—出展者説明会

## 【出展者説明会参加企業】

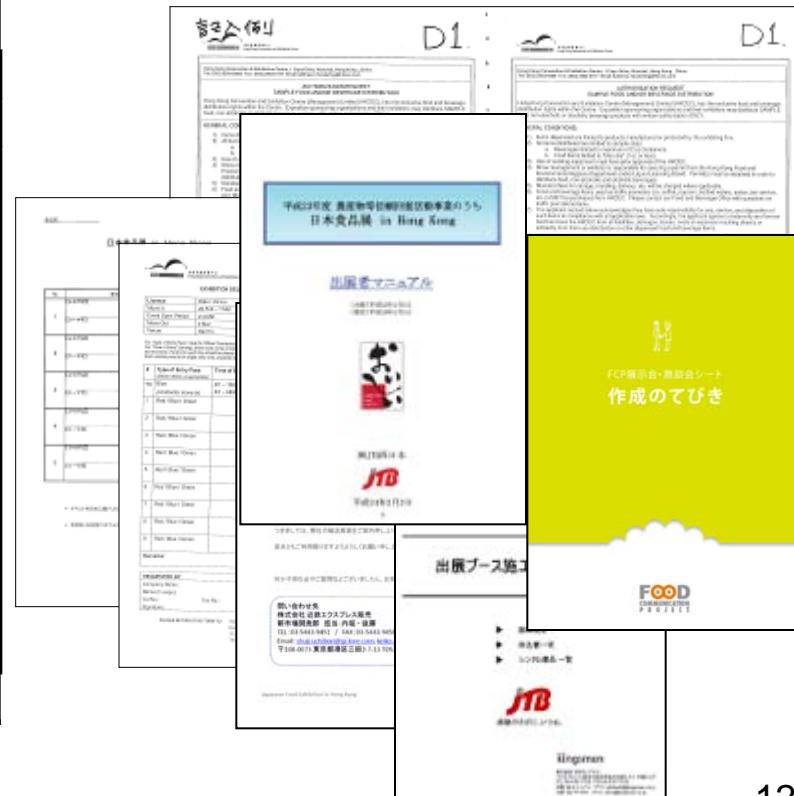
【2月2日(木) 大阪】

No	企業名
1	一正蒲鉾株式会社
2	株式会社辻野
3	有限会社C F 商事
4	三山グリーン株式会社
5	株式会社かも有機米
6	有限会社大蔵園
7	有限会社人と農・自然をつなぐ会
8	株式会社エス・マルシェ
9	センナリ株式会社
10	三和油脂株式会社
11	株式会社静稟
12	ひかり味噌株式会社
13	株式会社伊勢萬
14	株式会社ごはん
15	国岡製麺株式会社

【2月3日(金) 東京】

No	企業名
1	大吉商店株式会社
2	菊水酒造株式会社
3	株式会社真田
4	株式会社坂ノ途中
5	丸石醸造株式会社
6	株式会社エムコ
7	株式会社つぼ市製茶本舗
8	木村水産株式会社
9	株式会社すくも酒造
10	株式会社角谷文治郎商店
11	D's Plate
12	富永貿易株式会社
13	株式会社 植嶋

### 【配布物見本】



配布物

---

- 出展者マニュアル
- 商談の心得(海外編)
- 商談希望シート(見本)
- 通訳手配申請書
- 出展者パス申請書
- 搬入パス申請書
- サンプル申請書
- ケータリングオーダーシート
- 商談自己評価チェックシート
- 説明会スケジュール
- 商談対策セミナー
- 作成のてびき
- 展示会貨物輸送についてのご案内
- 出展ブース施工装飾マニュアル

# 7-4. 事前準備 - 物流・輸送

## 【物流・輸送コンサルティング業務(近鉄エクスプレス)】

1月中旬から本番前2月下旬までの1ヶ月半に受けた問い合わせ企業は26社。

最終的に、輸送対象品や物量など、状況によって、輸送方法をアドバイスし、取り扱い結果は下記の通りとなった。

### 【貿易代行サービスの提供】

①貿易代行を案内し、書類作成やラベル作成の代行を行った。

自社で必要書類を整えるノウハウや人的余裕が無い出展者や出展者説明会に出席出来ず、展示会の詳細情報が取れなかった企業からの問い合わせが多くあり、貿易代行サービスでスムーズな輸送を可能にした。

②物量が少なく、業務通関を行うにはコスト高になるのでハンドキャリーを希望する出展者やハンドキャリーについて問合せをしてきた出展者には、香港空港到着時の申告に必要な書類(INVOICEや商品が分かるカタログ等)の準備や申告方法を案内した。書類作成やラベル作成についても、航空輸送を行う出展者同様にサンプル書式やラベルの確認等を行った。

③出品品以外のパンフレットや備品など、輸入規制に該当しない消耗品については、EMSによる輸送の荷受を香港側で受け付けた。弊社香港事務所が受取人となり、他の航空輸送分と同時に配送する仕組みを設定し、出展者に案内をした。

### 【香港側の輸入通関について】

原発事故後、日本製品は産出県に関わらず、サンプル検査該当となる可能性があるため、本番1週間前には香港空港へ到着するスケジュールで手配した。結果として、輸送件数20件の内3件が香港当局(食物環境衛生局)による検査対象となつたが、平均して2日間で輸入手続きを完了し影響はなかった。

サンプル抜き取り検査:1件 (対象商品:ほうじ茶)	出品品の一部が香港当局に抜き取られた為に、出展者に報告し、抜き取られた分の補充品を持参するように提案した。香港当局は検査品に該当する商品代金(Invoice Value)を賠償するとの通知を受けた。弊社が出展者に代金を立替え、近鉄エクスプレス香港が当局に請求する方式で出展者に便宜を図った。
放射線検査:2件 (対象商品:緑茶・お茶・梅酒・桃ジュース)	機械(空港などにあるようなX線爆発物検査器のようなもの)に通して、放射線量を測る検査

### 【総括】

半数以上が貿易経験の無い企業だったため、主に輸出に必要な貿易書類の作成方法や加工品ラベル・栄養素ラベルの作成方法に問合せが集中した。また、香港は何でも自由に輸入できると安易に考えている出展者が多く、出展可能商品=輸入可能商品という意識が徹底されていなかった。結果として近鉄エクスプレスの航空輸送サービスを利用しなかつた出展者からの問い合わせもあった。加工品ラベル・栄養素ラベルの確認依頼やブース装飾用備品の輸送方法などが主たる内容。

#### 本番輸送業務

##### 〈貨物の搬入〉

本番前日の午前8時に会場にトラックが到着。近鉄香港法人より8名の作業員を配置し、待機させた。会場の設営が完了するのを待ち、出展品は午後1時までにブースまでの配達を完了。縁日関連貨物は午後2時に指定場所に設置、太鼓は縁者が到着した午後5時まで保管し、開梱後引き渡した。すべての貨物でダメージや紛失などは無かった。

#### 課題

複数の業者が多くのイベントに携わっていたために、施工のタイミング、貨物の搬入時間や設置場所などが最後まで確定しないケースがあり、輸送に関する作業員の待ち時間が多くコスト増大要因となつた。今後の同種のイベント運営の教訓として改善が必要である。

# 7-5. 事前準備 -【総評】

## 【総括】

- ・実施まで約2ヶ月弱であり、募集開始から締切りまで、10日間とわずかな募集期間であったが、日本食品展の事業優位性や前広な告知戦略が効を奏し、50社を超える出展者の応募があったが募集期間どおり、出展目標数である41社を選定することができた。
- ・東京、大阪にて各1日かけて実施した説明会においては、参加者も熱心な姿勢で参加していた。既に理解している情報、知識もあったかと思われるが、このような基本的な商談技術の向上について学ぶ機会があることにより、更に知識の蓄積につながったがようと思われる。なお、商談本番にむけて、事務局に対して直接相談ができる唯一の機会であり、質疑応答も積極的に実施されていた。

## 【問題点】

- ・選定決定から時間がなかったため、意思に反して説明会に参加できなかった企業も存在していた。
- ・イベント規模を把握しないまま応募する出展者が多く、選定後の説明会等で想像以上の規模の展示会である事を知り、辞退を希望したり戸惑う出展者がいた。
- ・募集書類提出にあたり、時間が限られているため、確認事項も多く、出展生産者との出展に関するやり取りが多くなった。連絡事項が短期間に多岐にわたったため、手続きに追いつけない出展者もいた。
- ・海外輸出経験のない出展者には、輸送の問題(商品ラベルや原材料の内容、送料など)にかなりのフォローが必要であった。簡単に輸出できると考えていた出展者が多くいた。

## 【今後の課題】

- ・海外においては、輸出制限などもあり、商品検査などにも準備がかかる上、マーケットに正対した商品を選択することにも時間が必要以上にかかるため、輸出生産者育成の観点からも、準備から募集、実施までの十分な準備期間が必要である。
- ・展示会の規模が大きく、少人数参加の出展者はブースでの消費者対応に追われる事になった。商談も考慮し最低限の参加人数や通訳等の準備についてより細やかな説明が必要である。
- ・出展生産者は大都市圏から離れていることも多く、また時間の制約もあるため、説明会のプログラム・時間・開催場所は十分に検討する必要がある。